



starting line

R18

未来捏造雪燐パラレル本です。  
大学生雪男×カフェのマスターになった燐の話です。

CP的な要素はありませんが、  
オリジナルキャラ・モブキャラが登場しますので  
苦手な方はご注意ください。





今のお前を  
藤本神父が見たら  
きつと喜ぶと思うよ

余計なお世話だ  
このクソガキが

アイマシクロー



次にお会いときは  
ヴァチカンで  
キレイな嫁さん  
見つけて来  
ってててて  
ごめんなさい  
ごめんなさい

み

あ  
あ  
あ

し  
る



：この店  
頼むな

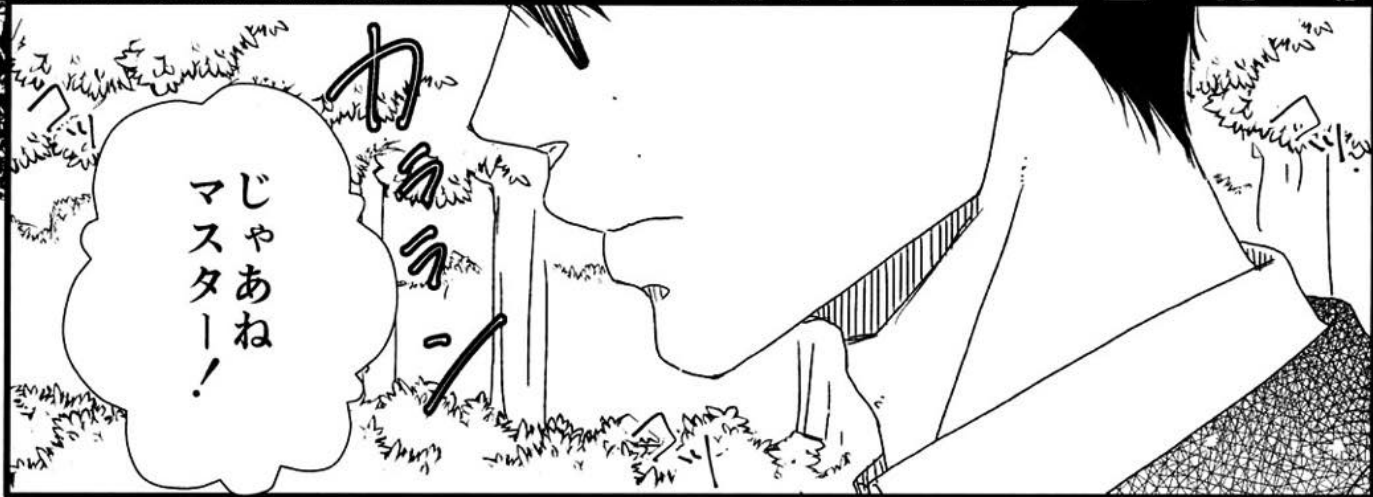
父さん

なあ

アンタが夢見てた  
俺の未来の姿に  
近づけてるかな

……おう

今の俺は





はー  
やっぱり  
カッコイーなあ  
マスター

彼女とか  
いるのかなあ

そりやいるでしょ  
あれだけ  
イケメンなんだから

だよねー  
シヨック……



ちよっ：  
今の人カッコイイ!!

彼女  
いるのかな!?

アンタ気多すぎ!!  
絶対いるったらー!



カッ  
ズ

だいらがっしやい

.....

だいらがっしやい





ははっ

今日は一段と  
ご機嫌ナナメじゃん  
雪男

兄さん



他の人の  
電話には  
出るくせに

もしも  
急な用事だったら  
どうするつもり？



…まったく

僕いい加減  
の電話にも  
出ないかな  
ちやんと

だからー  
話があんなら  
カギ使って  
直接言いに来い  
っつってんじやん

何のために  
先代のマスターが  
ドア加工してくれ  
思ったんだよ

カ

カ

……先代は

よくここに  
帰ってくるの？

おー  
ちよいちよ  
帰ってくるよ

……そうなんだ

このカフェは  
先代さんが2年前  
継いだマスターから

ヴァチカン行って  
もう2年なのに  
未だに和食が  
恋しくなるんだとさ



兄さんのことを知りながら  
彼は兄さんを  
バイトとして雇い  
このカフエの後継ぎとして  
育て上げた



彼が  
兄さんの  
人としての人生を  
変えた





なに、今日そーゆープレイなの？

別にいーけど

職場で学生を誘惑するなんて

感心しませんねマスター

…バレてた？

てかこんなコトすんのお前しかいねーし

…は？

お前



…ん？



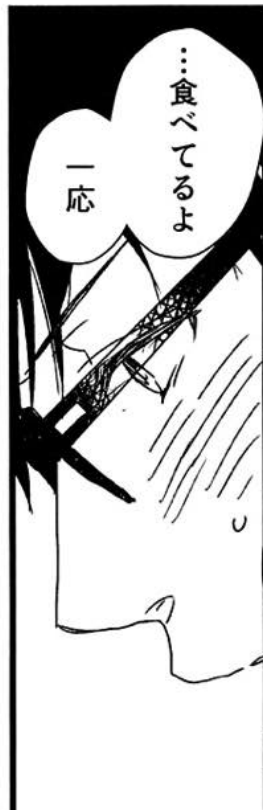
嘘つけ！

すげ

お前が自炊なんてする訳ねーしコンビニ行くのも面倒くせーつって

外食かウイ〇ーか  
食わねーかのどれかなんだろ

おちゃん  
十文字



…食べてるよ

一応



お前また瘦せた？

ちゃんと飯食ってるって言ってたよな？



行かない

もっと  
こっち来て  
兄さん



……っ



だから  
言ってるんじゃないか

いい加減  
俺とこ  
一緒に住めって



寮を  
出ていくって  
どういうこと?



……なんだよ

いじっぱり



……っ！

だから  
悪かったって！

任務とか  
受験勉強で  
忙しそー  
だったからさ



……なんで

何で今まで  
僕に  
言わなかったん  
だよ……!!



俺  
あのカフェ  
継ぐことに  
なつてさー

時間ねーから  
マスターン家に  
住み込みで  
修行させられんの

あ、一応  
メフィストには  
許可貰ったぜ

ハッコモ任務モ  
チカヤビキで  
条件はさで



兄さん……!!



……さてと



それじゃ  
行くわ

大学受験  
がんばれよ

ちよつ…  
待つてよ  
兄さん



兄さんは  
あの人と出会い  
人生が変わった

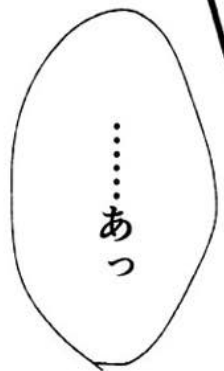


兄さんが  
僕の人生を  
変えたように

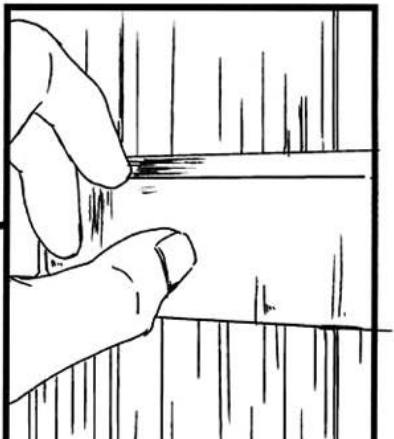
兄さんの人生を  
動かすのは  
僕だけだと  
勝手に思っていた



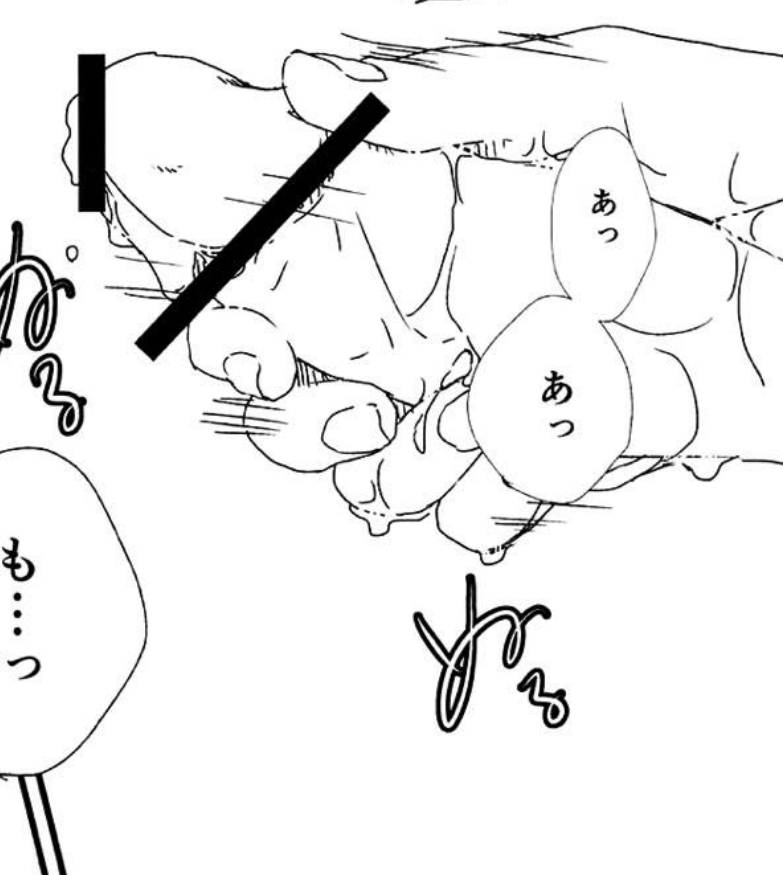
一番近くにいた筈の  
兄さんが  
今はこんなにも遠い



……あ













…これで満足？

ん

っ

ん…

不安定だから  
ちゃんとテールに  
掴まってて

んー

…



あっ

カ  
ニ  
シ

ひあ…っ

カ  
ニ  
シ

…



ちゃんと  
聞いている？

カ  
ニ  
シ

っ聞いて

る



ふ…う

カ  
ニ  
シ

んん…っ

んっ

カ  
ニ  
シ

カ  
ニ  
シ

カ  
ニ  
シ



ジジイは死ぬ前  
俺にこう言った

お前を  
普通の人として  
育てたかった



ジジイは俺を  
人間として  
育てようとした


俺の成長を  
誰よりも楽しみに  
してた



なのに




俺は  
ジジイの願いを  
叶えられなかった




悪魔である以上  
被魔師になつたって  
仲間扱いされない


塾の仲間以外は  
まるで俺を  
兵器か何かだと  
思ってるみたいだ




悪魔として  
覚醒しちゃった  
俺には



もしかしたら  
これは俺への  
罰なんじゃないか



誰も



一緒に生きていく  
資格なんて  
ないんじゃないか



おかえり

遅かったね

—おう

俺とは違って  
人間のままの  
雪男とも  
いつかは—

人間に戻るの  
は無理だとしても

せめて  
人として  
生きることが  
できたらいいのに





悪魔として  
生きていくのが  
辛いなら

お前  
この店継いで  
みないか？



え…っ

ただし  
俺がヴァチカンに  
行くまで  
あと3年切ってる

やるからには  
住み込みで  
修行して貰わないと  
間に合わない

どうする？

住み込み…

……そりゃ  
できることなら  
やりてーけど…っ

俺  
悪魔だし—



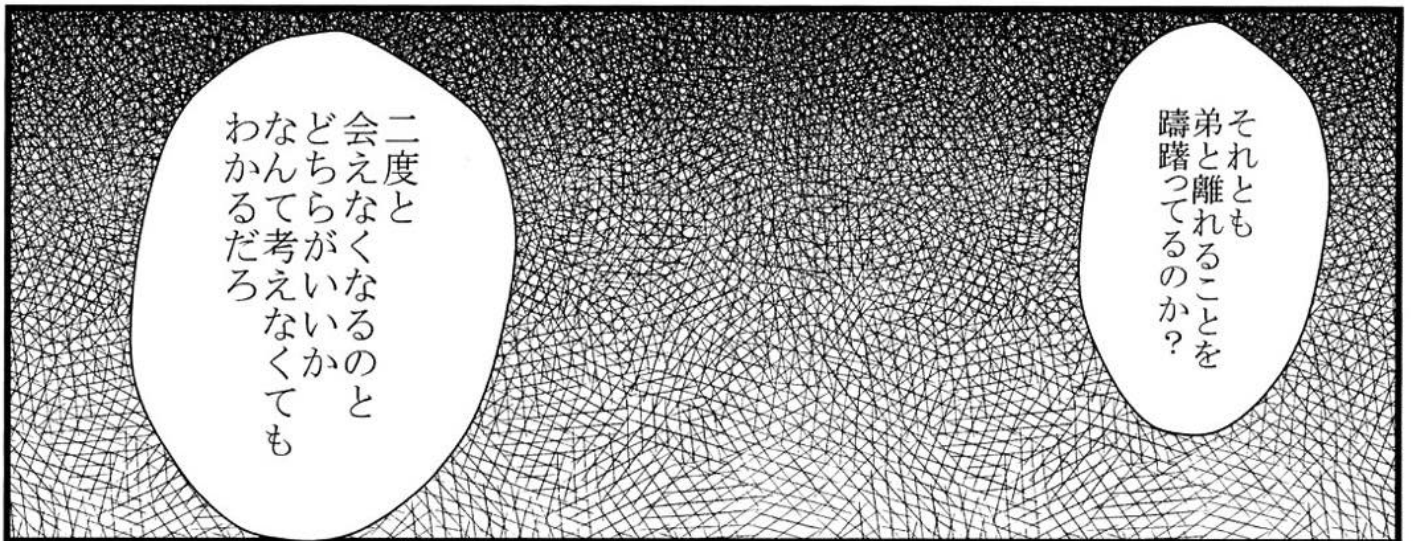
今までウチで  
バイトしてても  
大丈夫だったろ

それに

人として  
一人前に  
なりたいって  
言ってたじゃ  
ねーか



いっつ



それとも  
弟と離れることを  
躊躇ってるのか？

二度と  
会えなくなるのと  
どちらがいいか  
なんて考えなくても  
わかるだろ



燐

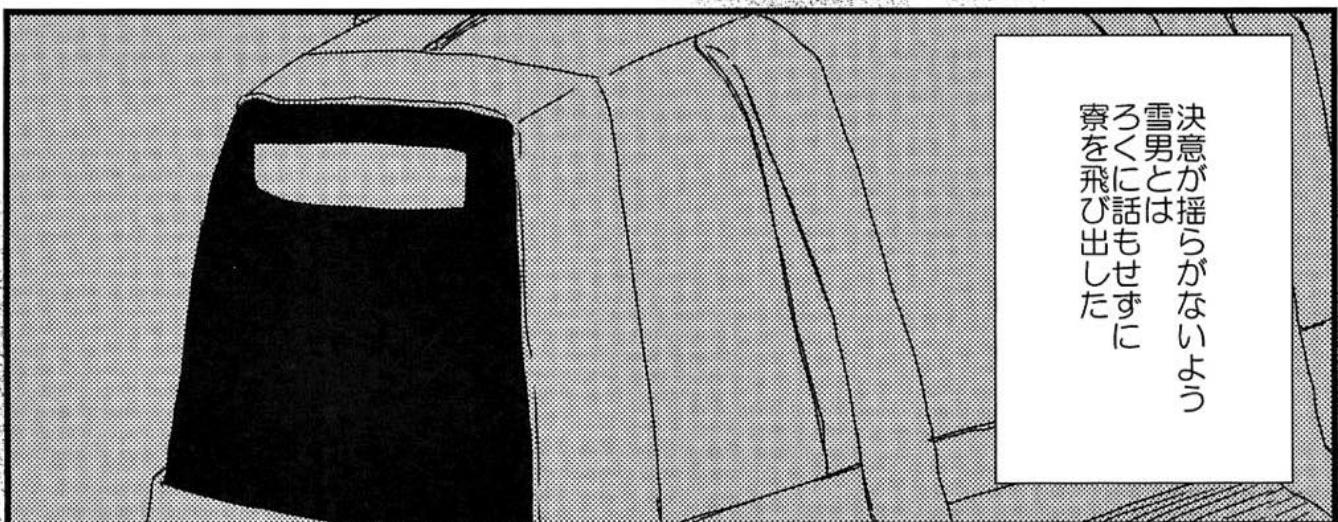
頼む

お前なら  
きつと  
立派に継げると思う



……やるよ

修行  
つけてくれ



決意が揺らがないよう  
雪男とは  
ろくに話もせず  
寮を飛び出した

一人前になったら  
きつとまた  
雪男と一緒に  
暮らせるかと信じて

俺は  
3年の修行を終えて  
店を継いだ

雪男は

卒業したら  
医者になるんだよな

ならないよ

え  
なんで

ガキの頃からの  
夢だったんじゃない  
の!?



え……

医工騎士だから  
人を治すことは  
できるしね

一番治したい相手が  
いなくなつて  
医者を目指す理由が  
わからなくなつた



そうだけど……

神父さんが死んで  
兄さんも  
覚醒しちゃつたし



何で兄さんが  
謝るの？

だって

俺のせいで  
お前の人生  
狂っちゃつたんだろ



……ごめん



他に  
やりたいことが  
見つからなくて

情けない話だけど

卒業まで  
あと少しなのに  
まだ就活中なんだ

……兄さんを  
恨んでるつもりは  
ないけど

僕が  
このままで  
いる限りは

兄さんと一緒に  
暮らすことなんて  
できないよ

正直言うと  
一人前になった  
兄さんのことを  
素直に喜べない

……俺

ほんとに  
バカだ

……ごめん

雪男

俺は今まで  
自分のことしか  
考えてなかった

雪男の人生を  
狂わせた事にも  
気づかず

雪男のことばっか  
考えてたくせに  
肝心なトコが  
少しも見えてなかった

……雪男

兄さん？

あのさ

就活中  
なら

俺いいトコ  
知ってんだけど

？

ふん……

……

ここじゃ  
ダメか？

えっ……

…僕に  
このカフェで  
働けって？

冗談なら  
笑えないよ

冗談で  
言うかっての

正直俺一人じゃ  
店回んねー時  
結構あるんだよ

僕じゃなくても  
バイト雇えばか  
いいじゃないか

俺が悪魔だって  
気付かれちゃうかも  
しんねーだろ

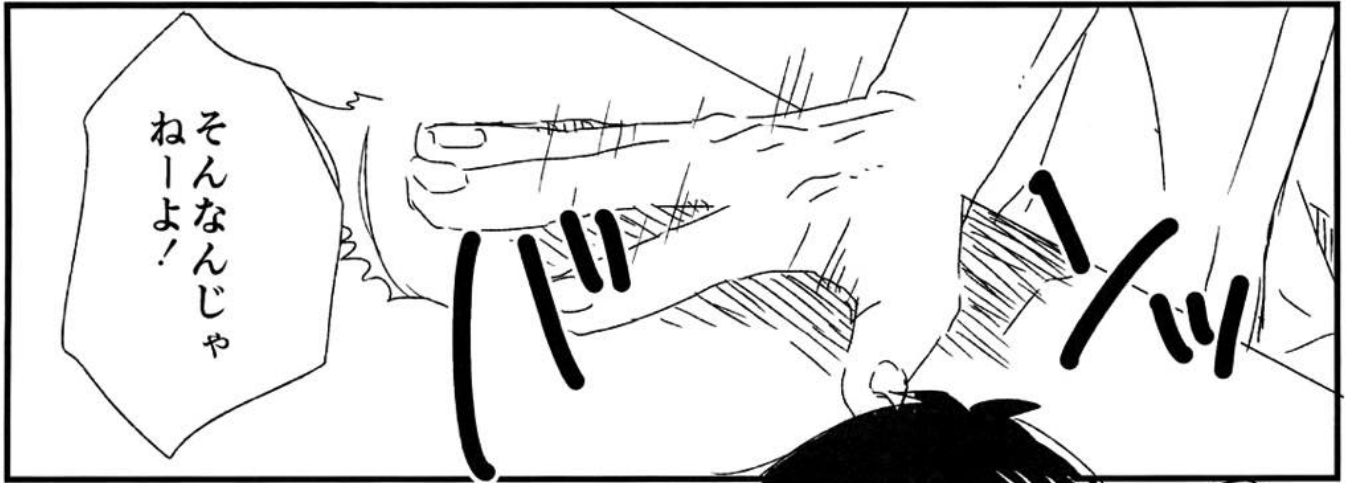
…そこまで  
してくれなくても  
いいよ

兄さんが  
覚醒することは  
ずっと前から  
わかってたことだ

時間はかかっても  
僕にできること  
探すから  
心配しないで







そんなんじゃないよ！



俺がお前に頼んでんだよ

ここに就職してくれ  
雪男！



……本当にいいの？

おう！

…僕

料理も  
できないのに？

教える

コーヒードって  
インスタントしか  
淹れられない

教える！

…お前は  
俺と違って  
頭もいーから

このカフェで  
一生働かせるのは  
正直  
もったいねーと思う

だから  
ココで働くのは  
無理には  
言わない

他に  
やりたい仕事  
があれば  
やってくれていい



ただ  
俺はもう

お前と離れて  
暮らすのだけは  
絶対嫌だ

…兄さん…



てっきり  
兄さんの本命は  
先代だと  
思ってたよ

所詮僕なんて  
二号さんなんだと…

あの人  
俺の師匠で  
そーゆーんじゃ  
ねーよ!?

僕は

ガキの頃から  
お前ひとすじら  
なんですけどじら  
!!!

すげーん…

お前  
2号さん  
何



……よかった




さよ



ここに  
就職しても

兄さんさえ  
迷惑じゃ  
なければ





……迷惑なワケ  
ねーだろ

バカ!



空気読んで落ちた頃に11掃、アくるクロ

念願のカフェ燐本です。  
あまりカフェという設定を生かせなかったのが  
心残りですが、描いていてとても楽しかったです。  
秋か冬頃にカフェ村本を出せたらいいな。


それでは、またいつかお会いできる日まで。

starting line

2013/5/3  
カワセミセワカ/michan  
<http://hisui.raindrop.jp/>  
[info@hisui.raindrop.jp](mailto:info@hisui.raindrop.jp)

印刷:金沢印刷様

オークション出品・無断転載・加工・複製を一切禁止します

The background is a bright yellow color with a fine, woven texture. It is decorated with several white, stylized floral or snowflake-like patterns of varying sizes. Some are simple six-petaled flowers, while others are more complex, multi-layered designs. Interspersed among these white patterns are several solid black, rounded rectangular shapes. On the left side of the image, there are faint, thin-line drawings of a person's shoulder and a plant with leaves.

201305\*kawasemisewaka  
blue exorcist fanbook  
yukio\*rin